

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月16日

【評価実施概要】

事業所番号	0110413994		
法人名	医療法人 福和会		
事業所名	グループホーム 青空		
所在地	札幌市手稲区曙11条2丁目3番13号 (電話) 011-683-7523		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3		
訪問調査日	平成21年1月14日	評価確定日	平成21年3月17日

【情報提供票より】 (20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7人 非常勤 1人 常勤換算	7.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費 10,000 円 暖房費(11~3月) 8,000円
敷金	有()円・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	0名	要介護2	5名
要介護3	2名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 89歳	最低 75歳	最高 99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人福和会札幌立花病院 佐藤歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営法人は医療施設・ケアハウス・グループホームの複合施設を有し、各々の施設は渡り廊下で繋がっており、介護、看護、医療が連携していますので、利用者や家族からは絶大な安心と信頼が寄せられています。職員は、介護理念である「ゆっくり・いっしょに・楽しくらし」を常に心がけ、利用者の気持ちに寄り添って、ケアサービスを実践しています。また、毎朝、居室を訪れ、さりげなく健康チェックを行なっている理事長(病院長)を心待ちにしている利用者にとって、ホームは揺るぎない存在となっているようです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善項目である「理念の中での地域性の表示」や「外部研修への積極的な参加」は、改善が見られましたが、「ほかの業者との交流を通じた向上」については、引き続きの検討項目であり、取り組みに期待します。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員は評価の意義を理解し、自己評価も全員で気づきを見出して作り上げています。また、評価での改善点を踏まえ、今後のケアサービスに取り入れて行くなど、効果的に活用しています。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヵ月毎に開催され、メンバーも地域包括支援センター職員、町内会長、老人クラブ顧問、家族代表で構成し、ホームの活動状況、評価の取り組み、防火訓練、質疑、要望など、活発な意見交換があり、サービスの質の向上に繋がっています。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の方々からの要望は、運営推進会議の中や、1ヵ月に3~4回程の来訪時に伺っています。把握した情報は職員の共有とし、運営に反映しています。第三者による苦情相談窓口も伝えています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣の小学校の運動会や学習発表会の見学、また、隣接する医療施設の多目的ホールでは、小学生やボランティアの方々との歌や踊り、手品の披露があるなど、楽しい時間を共有しています。地域の夏祭り、秋祭りへの参加や、職員による町内清掃、町内会の総会への参加などで、地域の方々との交流を深めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方々との交流は脈々と続いています が、理念の中に地域に係わる表示がなく、改善項目になっていました。今回、「地域に根ざした穏やかな暮らしを大切にし、利用者の命とケアと家族の心身の穏和に努めます」との、新たな理念を作り上げました。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念、介護理念が記載されたカードを携帯し、理念に込められたケアサービスのあり方を確認しながら、日々実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校の運動会や学習発表会には利用者と一緒に見学させていただいたり、また、隣接する医療施設の多目的ホールでは、小学生やボランティアの方々の歌や踊り、手品の披露があるなど、楽しい時間を共有しています。地域の夏祭り、秋祭りへの参加や、職員による町内清掃、町内会の総会への参加などで、地域の方々との交流を深めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の意義を理解し、今回の自己評価も、全員で検討を重ね管理者が纏めました。前回の改善項目も、取り組みに努力の跡が見られました。一部継続項目がありますが、今後のケアサービスに取り入れるなど、効果的に活用しています。		

札幌市手稲区 グループホーム 青空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月毎に順調に開催され、メンバーも、地域包括支援センター職員、町内会長、老人クラブ顧問、家族代表で構成し、ホームの活動状況、評価の取り組み、防火訓練、質疑、要望など、活発な意見交換があり、サービスの質の向上に繋がっています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のグループホーム管理者会議に出席し、「権利擁護に関する制度」の学習会や、担当者から運営に関し助言をいただくなど、連携を図り、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の日常生活の状況は、2ヵ月毎に「青空便り」で報告し、個人別に「一筆箋」で心身の状況を伝えていきます。そのほかに、家族の来訪時や電話でも、詳しく説明していますが、来訪が困難な家族には、写真を添えて安心をいただいています。金銭出納明細は、毎月発送しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方々からの要望や意見は、運営推進会議の中や、1ヵ月に3～4回程の来訪時に伺っています。把握した情報は職員の共有とし、運営に反映されています。第三者による苦情相談窓口も伝えています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営法人内の異動については、利用者と職員が馴染みの関係にあり、支障は生じませんが、やむを得ずの異動や離職の場合は、引継ぎを1ヵ月かけて行なっています。また、異動や離職は、月に2人以上にならないよう配慮しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員の向上心に繋がる助言や言葉かけに努め、さらに、段階に応じた内部研修や、費用負担による外部研修への参加を促し、職員の資質の向上を図っています。受講内容は職員に周知し共有を図っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、区のグループホーム管理者会議に職員を伴って参加したり、ほかの業者との交流を考慮していますが、具体的な取り組みには至っていません。	○	職員間の相互訪問や勉強会などを通し、スキルアップが図られるよう、実現に向け継続しての取り組みに期待します。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に、利用者や家族の方々のホーム見学や、管理者の訪問により、生活歴や趣味などを把握し、情報は職員全員の共有としています。入居後は、見守りを優先し、ホームの生活にゆっくと馴染んでいただけるよう配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者は親子のような慈しみの中で、お互いに感謝の言葉をもって、共有の時間を過ごしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの意向や希望は、生活歴や職員間での情報収集により把握していますが、意思表示が困難な場合は、言動やボードでの伝言で思いを汲み取るなどの支援に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の要望に加え、詳細な介護記録、理事長（病院長）の毎朝の回診による気づきや指示などを踏まえ、一人ひとりに合った適切な介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月から6ヵ月の定期見直しは行なわれていますが、利用者の状況変化がみられる場合は、関係者からの情報をもとに、随時、現状に合った見直しを行なっています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族に代わり通院介助や買物同行、家族の宿泊支援など、その時々々の要望に応じ柔軟な支援を行なっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接している医療施設で、月1回の健康チェック、年1回の健康診断、日常的に看護師による健康管理が行なわれ、利用者と家族の安心をいただいています。利用者の状態により専門医受診も支援しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	サービス利用時に、利用者と家族に、看取り介護と重度化対応についての指針を説明し、同意をいただいています。早い段階から関係者と話し合いを重ね、方針を共有しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は一人ひとりの性格を把握し、尊厳を損なわない配慮をしています。面会簿もカード式になっており、個人情報も適切な場所に保管しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの一日の流れでレクリエーションなどが行なわれていますが、利用者のペースを尊重して、どのように一日を過ごしたいかを把握しながら、希望に沿って支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の持てる力を活かし、職員とともに、食事の下ごしらえ、配膳、食事、下膳を行っています。車椅子を使用の利用者には、食卓の椅子に座っていただき、職員のさり気ない介助の中、穏やかな食事風景が繰り広げられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回の入浴日を設け、時間帯や曜日は、希望に合わせて支援しています。入浴は、利用者と職員にとって、大切なコミュニケーションの場所になっています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の体調や能力に応じ、洗濯物畳み、カーテン開閉、手芸、庭仕事など役割を担っていただき、満足感に繋がるような支援をしています。また、トランプ、オセロ、歌などで気晴らしのある暮らしになっています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	中庭や通路はロードヒーティングで、一年を通して散歩ができ、外気や季節の変化を感じることができます。散歩や買物、また、月一度の外出行事などで、利用者にとって、心身共にリフレッシュできる場面作りに配慮した支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の注意深い見守りのもと、玄関や居室は施錠していません。隣接の施設からの見守りもあり、安全面は十分に確保され、自由な暮らしを支援しています。		

札幌市手稲区 グループホーム 青空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、日中・夜間想定 of 消防訓練が実施されています。隣接施設の協力体制も確立されており、さらに、地域の方々にも協力をいただけるよう依頼しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量や水分量は、職員全員が共有しています。栄養士による1,700カロリーを基本としたバランスのとれた献立により、色どり豊かな、食欲をそそる食事を提供しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は明るくゆったりしており、清潔感が感じられ、利用者は居心地の良い場所を確保し、寛いでいます。居間に飾ってある季節の花や、大きな窓からは、中庭の花や、外の景色などで季節の移り変わりを感じています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	大切にしていたタンスやテーブルなどの家具や調度品が、思い思いに配置され、家族の写真や飾り物などで、居心地のよい空間になるよう配慮しています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。